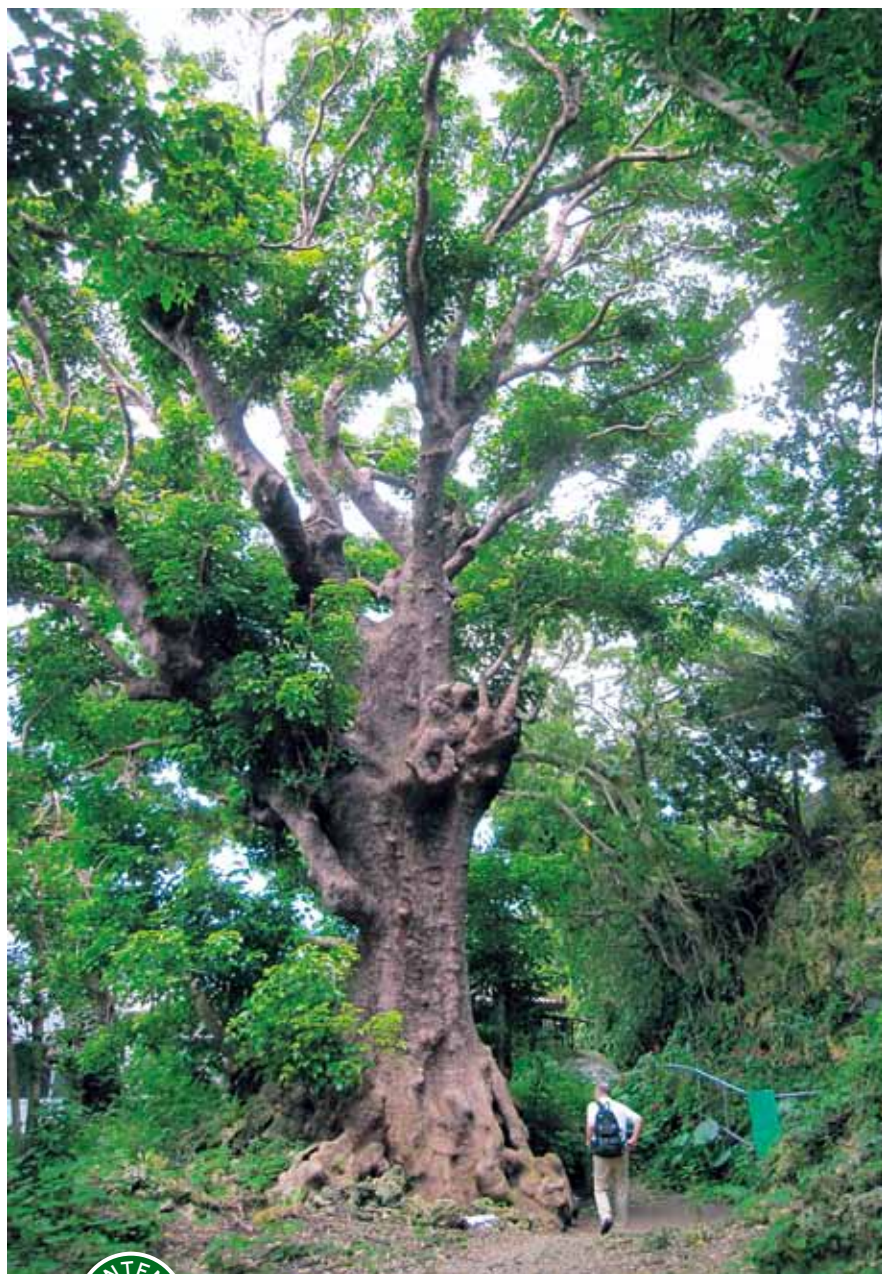


独立行政法人国立病院機構
沖縄病院 広報誌

発行日
平成24年2月1日
第25号
発行所
沖縄県宜野湾市我如古3丁目20-14
編集発行 広報委員会



基本理念 患者さまの立場を尊重し高度で良質の医療を提供します。



運営方針

- ①政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
- ②患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
- ③健全な経営基盤の確立
- ④安心して療養に専念できる快適な環境
- ⑤臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実



表紙の花:

アサヒカズラ、学名:
Antigonon leptopus、
別名: ニトベカズラ コーラルバイン

メキシコ原産のつる性の半低木。きれいなピン

ク色の花は萼(がく)が色づいたもので、長期間色あせずに楽しむことができる。開花期は主に夏。気温の高い熱帯地域では季節を問わずに開花する。地中にイモができ、大きくなると5kgもの重量に達する。イモは食用にもなり味はナッツ類に似ている。沖縄では露地で見事に咲きほこるアサヒカズラを見ることができる。(首里金城町にて撮影)

首里金城の大アカギ(国指定天然記念物)

当院から南西に約7km

学名: Bischofia javanica Blume

トウダイグサ科の半常緑の高木。推定樹齢200年以上。琉球列島や中国、熱帯アジア、オーストラリア、ポリネシアに自生している。樹皮は沖縄ではミンサー織りの染料に使われている。

目次

- | | | | |
|--|---|---|---|
| ◎ 常に、挑戦する気概を持ち続けよう
～医学・医療は患者さんのために～ | 2 | ◎ 筋ジストロフィー診療における医療の質向上のための
多職種協同研究「班会議」において研究成果を報告 | |
| ◎ がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際 | 3 | ◎ 沖縄病院のよくある質問 | 5 |
| ◎ 沖縄病院月桃会並びに源河先生叙勲受章祝賀会 | | ◎ 医局業務分担表 | 6 |
| ◎ 西病棟「第14回ひまわり美術展」 | 4 | ◎ 売店紹介 ◎ 自動販売機紹介 ◎ アクセスマップ | 7 |
| | | ◎ 医事統計 ◎ 編集後記 | 8 |

ロゴマークの意味



南国沖縄のイメージを表現する為に、原色(はっきりとした色)を基調とし、ベースは沖縄 okinawa の「O(オー)」を表しています。肉太い赤で太陽を表現。中は波をブルーで表し、全体として健康を象徴する人間の笑顔をかたち取っています。



常に、挑戦する気概を持ち続けよう ～医学・医療は患者さんのために～

院長 石川 清司

沖縄の桜の季節となり、進学に就職にと夢がふくらむ季節です。しかし、医療の現場は混沌とした状況にあります。診療報酬の改定のつぎはぎでもって誘導される医療政策は、何を、何処をめざして舵をとっているのでしょうか。理念がない。目標が定まらない。

医師の外科系離れも深刻である。パーティー中座症候群とも称される緊急時、深夜の呼び出し、長時間の手術。人の「生と死」の場面に対峙するこの職種には、体力と気力は必要です。

劇的な事件でした。奇跡かと思われる人生的一幕が演じられたのです。この日の私のセカンドオピニオン外来を訪ねてきたのは、60歳代の主婦。本人の容態があまりにも悪いため、兄弟親族がそろっての来院でした。

病名は「非アルコール性脂肪肝炎(NASH)」。腹水で満たされたお腹は、出産まじかかと思わず腹囲。履ける靴がない。最大級の島草履が申し訳なさそうに見えるほどに腫れあがった下肢。肝硬変の終末期像でした。

一刻の猶予もない。母校の岡山大学の大学病院の肝移植グループに連絡を取った。家族に、臓器提供者(ドナー)の選別を指示した。予定の外来受診日の前日に、事態は急展開。宿泊のホテルで急変、救急車での搬送となった。

大学病院の若い女性の移植コーディネーターの素早い対応は見事でした。病状の説明、移植の心得、手続き、そしてドナーへの心くばり。全身の管理の後、約1ヵ月後の生体肝移植となった。

手術記録からみた手技は、まさに芸術、匠の技でした。肝硬変。静脈瘤。腹水。困難が予測される生体肝移植は約8時間で完遂された。

「石の上にも三年」。スポーツ、絵画、陶芸、建築。すべての場面での磨き抜かれた匠の技は、「美」そのものかも知れない。外科医の世界にも、芸術は存在した。

移植から約一年が経過した。何度かの拒絶反応も、無難に乗り越えられた。患者さんのつぶやきの一言に、地球よりも重い「命」の意味が込められていた。「今、生きていることが・・・うれしい」と。

執刀した教授の、若い世代の医師への講演・訓辞を聴く機会に恵まれた。「医学の世界には、奇跡という言葉は存在しない。しかし、移植の医療には奇跡的なことが起こる。信じて、追い求めなさい。切磋・琢磨」。

臨床医学のみが全てではないことは確かです。基礎医学、社会医学がバランスよく積み上げられていなくてはならない。対症療法の診療報酬改定ではなく、調和のとれた医学・医療界の発展を目指し、「命」そのものを大切にする高邁な理念の元に、医療従事者の志気を鼓舞したい。

かつて、「少年よ、大志を抱け」と北海道の大地で叫んだ札幌農学校のクラーク博士も、南の島の若い世代に向かって呼びかけているようです。「石(医師)の上には、十年」。「夢を求めて、努力しなさい」。「奇跡は、起こり得る」と。

(2012年1月)

がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際

—琉球大学公開講座を共催して— 緩和医療医長 大湾 勤子



沖縄県におけるがんの罹患数の増加にともない、家族ががんと診断され治療やケアを受けるケースが増えてきている。がん患者の身体的・精神的苦痛を理解し、どのようにサポートしていくかを考える場として、2011年9月3日、琉球大学公開講座「がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際」を当院会議室で開催した。本講座は、医療の現場で実際行っていることを共有し、がん患者のQOLの向上に役立てることを目的としている。

以下、6人の演者による講演について、簡単に述べる。

はじめに主催者の琉球大学医学部成人看護学教室代表の照屋典子氏より、「我が国における緩和ケアの現状と課題」について講演があった。2015年には、日本人が一生のうちがんに罹患する推計値は男性の53.6%、女性の40.5%と、どちらも約2人に1人となっており、がんは身近な疾患であることが再確認された。2007年4月より施行されているがん対策基本法を紹介し、その中ががん患者の療養生活の質の維持向上を目的として、緩和ケアの必要性が明記されていると述べられた。沖縄県の緩和ケア施設は、沖縄病院20床、オリブ山病院21床、アドベンチストメディカルセンター12床の53床のみであり、実情としては、緩和ケア施設に入院できる患者は限られている。そのため、がん拠点病院、一般病院でも、がん診療・療養に関する相談窓口や緩和ケアチームを利用して、緩和ケアを受けることができるという情報の提供がなされた。

友愛会南部病院麻酔科の笹良剛史先生は、「がんの痛みを癒す疼痛コントロールの知識と実際」について講演された。がんの痛みは身体症状の中で高率に出現するため、その痛みの性質について解説し、WHO方式に則って痛みの治療をしていくことが大切であること、実際の治療として、医療用麻薬を中心とする鎮痛薬の使用法、副作用を紹介した。また神経ブロック、骨転移に対する放射線治療など幅広く、わかりやすく専門家の立場から解説された。

当院からは3人の演者が担当した。私、大湾より

当院緩和病棟における緩和医療の実際について、症状コントロール、家族ケア、入院費用のことなどについて紹介した。続けて比嘉千佳子緩和病棟看護師長より、「緩和病棟における看護支援」の実際を、患者の一番身近にいる看護師の立場から話して下さった。看護支援で大事なことは、患者のみならず家族の思いを「傾聴すること」から始まることを強調された。また、「緩和ケアに関する患者・家族への心理的支援」と題して、臨床心理士の奥間めぐみ氏が実際の症例を紹介しながら、現場での苦労や取り組みについて講演した。奥間氏は心理士として3年目で、初々しくも真摯に取り組む姿勢に、参加者は熱心に聞き入っていた。

最後に、友愛会南部病院小橋川初美師長の心あたたまる「在宅緩和ケアにおける患者・家族支援」の実際を紹介して下さった。在宅緩和ケアの長所、短所をふまえて、「自然に・安心・生活」を主眼においたケアの実際を、事例を通してユーモアと臨場感あふれる内容で講演し聴講者を魅了した。在宅ケアに関わるスタッフの熱意をあらためて知ると同時に

「お互いを尊重する関係を目指して、泣いて笑って…訪問看護」の貴重な体験を伺った。目頭があつくなつたのは、私だけではなかったのでは……。

参加者は51名で、6名の演者の熱弁により予定の講演時間を超えその後の質疑応答の時間はとれなかった。何かしらのtake home messageを携えていただけたかと思う。

本講座の冒頭に石川院長、最後に久場副院長がご挨拶して下さった。当院のスタッフが紹介する緩和ケアの実際は、常にあたたかく両巨頭が支えて下さるおかげである。そして、琉球大学をはじめ近隣の医療機関の連携なくして緩和ケアのひろがりはない。

本公開講座を共催できたことに琉球大学医学部成人看護学教室の砂川洋子教授に感謝するとともに、個人でできることは小さいが、それぞれの専門職が力をあわせて、さらにながらがん患者・家族を癒す緩和ケアを提供していきたいという思いをあらたにした。

第3回沖縄病院月桃会 並びに源河先生叙勲受章祝賀会

管理課長 田中 祐治

11月18日に、エリスリーナ西原ヒルズガーデンにおいて当院OB会である沖縄病院月桃会(さんにかい)を開催しました。

特に今回は、11月3日文化の日に発表の平成23年秋の叙勲において瑞宝中授賞を受章された沖縄病院名誉院長 源河圭一郎先生への祝賀も同時に行わせていただきました。

当日は小雨が少し残る天気でしたが、源河先生の祝賀もあってOB58名、現職51名の多数の参加があり、総会に続く懇親会では琉舞やエイサー等の余興で大いに盛り上がりしました。

中でも看護部による「冗談謝内科」の診察風景コント劇には場内大爆笑で、盛会のうちに終了しました。

次回は2年後になりますが、また多くのOBに参加いただき、旧交を温め、沖縄病院の現在、将来に思いを寄せていただける機会となることを願います。



第14回 ひまわり 西病棟 美術展



西病棟美術クラブ部長
又吉 辰也

現在、西病棟美術クラブ「ひまわりの会」として創作活動中の私たち。先日11月9日から13日の5日間、宜野湾市立図書館に於いて第14回「ひまわり美術展」を開催しました。食欲の秋、芸術の秋、読書の秋。実りの秋とばかりに、じっくり描きためた作品は二年に一度、収穫を迎えます。豊作とまではいきませんでしたが、出品者は筋ジス患者を中心に病棟患者、在宅者、関係者合わせて17人。油絵、アクリル、水彩、CG、CA（カットティング・アート）、陶芸等50点あまりの作品が会場を飾りました。

当日は雨にもかかわらず、一番にお祝いの花が届いていました。受付は学生ボランティアにお手伝いしてもらいました。会場内ではカットティングアート制作の実演と体験コーナーを真ん中に設け、制作者であるクラブ員の玉城さんが指導。来られたお客さんはテーブルに置かれた作品を見るなり、早速、用意された色紙とハサミを手に、チョキチョキ夢中で教わっていました。周りの絵画作品たちに囲まれる形での作業。和やかな雰囲気がありました。

開催してから、来場者は268名。場所や天候に左右されることなく来てくださった方々には本当にありがたく思いました。その中で、作品を見ていただく感銘を受けたという方があり、会釈しながら目を潤ませ、大いに励まされたとの言葉を頂戴しました。また、第一回ひまわり展から14回まで毎回お見えになった方がいることをうかがい知りました。第1回が1982年ですから30年間も支持して頂いたと言うことです。驚きと共に感激で一杯になりました。

日頃から多くの方々に支えられればなしの私たちですが「ひまわり美術展」という場で、感謝の気持ちが、表れ伝わり届けられていたら作者みよりに尽きます。

最後に、私たちの手足となって支援くださったスタッフはじめボランティアのお陰で無事終了することが出来ました。重ねてお礼申

し上げます。ありがとうございました。

すでに、元気を注入して頂いたメンバーは次回の美術展めざし、制作開始しています。これからも変わらぬご支援ご協力程、宜しくお願いします。



平成23年度

「筋ジストロフィー診療における医療の質向上のための多職種協同研究」 班会議において研究成果を報告 西1病棟看護師長 仲宗根 佐恵子

平成23年度の班会議は、国立病院機構川棚医療センターを事務局として、平成23年12月15から16日、国立機構本部講堂(東京)を会場に開催された。当院から、沖縄国際大学との共同研究を含めて6題の報告が行われた。演者および演題は下記のとおりである。

演題①：田場 利恵(西1)：スタンダードプリコーションをより浸透するための試み

演題②：浦底 光江(西2)：新任者の馴染みやすい病棟を目指して～離職の要因分析に基づいて～

演題③：当真 嗣也(西2)：ジストニア患者に対する余暇活動を通じたQOL回復への取り組み

演題④：伊波 恵理子(療育指導室)：余暇活動(囲碁クラブ)への支援についての一考察

演題⑤：上田 幸彦(沖縄国際大学)：ボランティア参加形態の違いと筋ジス患者の満足度について

演題⑥：國仲 真理子(沖縄国際大学)：筋ジストロフィー患者におけるコミュニケーション手段に関する研究

今回は、予算が大幅に縮小されての班会議であったが、例年同様、各施設から多方面からの臨床看護研究の報告があり、活発な討論が行われた。当院と沖縄国際大学との共同研究は、患者さんに対する心理面からのアプローチの継続的研究の成果の報告であり、今後のさらなる成果が期待され、高い評価がなされた。

渋谷駅近くにおいて行われた懇親会では、次年度へのさらなる挑戦への意気込みがみられ、和やかさの中にも活気に満ちあふれていた。



田場 利恵



浦底 光江



当真 嗣也



伊波 恵理子

沖縄病院のよくある質問

質問 那覇空港から貴院へ行きたいのですが、どの様にして行ったら良いですか。

回答 以下の方法が考えられます。

- ①モノレール那覇空港駅から古島駅へ行き(320円) タクシーで沖縄病院(約9km、約1,500円)へ
- ②モノレール那覇空港駅から首里駅(終点)へ行き(320円) タクシーで沖縄病院(約6km、約1,300円)へ
- ③那覇空港バス停から「25 普天間空港線」のバスに乗り我如古バス停で下車しタクシー(基本料金約500円)又は徒歩(約15分、0.8km)で沖縄病院へ

※ 上記3つの中では①がタクシー代が少し高くなりますが、一番早い(約21分+約19分=約40分)です。
②は①よりタクシー代が安くなりますが、少し時間がかかります。(約27分+約23分=約50分)
③は一番安く(バス代550円)なりますが、時間がかかります。(1時間から1時間30分)

※ タクシー料金は目安です。交通状況により若干増減することがあります。

質問 沖縄病院を受診するのに紹介状は必要ですか。

回答 紹介状はなくても受診出来ます。ただし、紹介状がない場合は、初診に係る特別の料金として、初診料とは別に1,575円お支払いいただきますので、ご理解のほどよろしく願います。

質問 土曜日に外来診察に行きたいのですが、診察してもらえますか。

回答 申し訳ありません。土日祝日は、通常の診療はお休みさせていただいており、急患(当直医師対応)のみ受付をしています。通常の診療は、平日(月～金)の8時30分から15時(再来の方は14時まで)で受け付けをしています。

曜日により、診察を行っていない診療科もありますので、ホームページ等で「外来診療科担当医表」により診療科を確認のうえご来院ください。

質問 院内にATM(現金自動預払機)はありますか。

回答 申し訳ありません。院内にATMは設置しておりません。当院から約200mのところコンビニ、約700mのところ郵便局がありますので、そちらのATMをご利用ください。

また診療費のお支払でしたら、各種クレジットカードが利用できますので、外来会計窓口へご相談ください。

質問 貴院で看護師として働きたいのですが、どうしたら良いですか。

回答 翌年4月採用の常勤の看護職員は毎年7月頃に募集しています。6月頃に当院又は独立行政法人国立病院機構九州ブロック事務所のホームページへ掲示しますので、そちらをご覧ください。

非常勤職員については、随時募集していますので、当院担当者(看護部：副看護部長、事務部：庶務係長)へご相談下さい。

医局業務分担表



業務別責任者

レジデント・臨床研修担当	河崎英範(外科)	仲本敦(内科)
	諏訪園秀吾(神経内科)	
クリティカルパス担当	川畑勉	大湾勤子
学会・研究担当	森山宏遠	比嘉昇
地域連携・診療録担当	大城康二	比嘉昇
輸血療法担当	久志一朗	那覇唯
ドック・専門外来担当	樋口大介	
ISO推進委員	川畑勉	諏訪園秀吾
ISO内部監査員	樋口大介	久志一郎
経営改善小委員会 第一委員会担当	川畑勉	樋口大介
第二委員会担当	河崎英範	諏訪園秀吾
第三委員会担当	末原雅人	大湾勤子
第四委員会担当	國吉真行	藤田香織
リスクマネジメント委員会	川畑勉	仲本敦
	諏訪園秀吾	
褥創対策委員会 担当委員	豊原一作	久志一郎
院内感染対策委員会 担当委員	仲本敦	藤田香織
	饒平名知史	
外来化学療法委員会	仲本敦	饒平名知史
病院広報委員会 担当委員	河崎英範	原真紀子
栄養管理委員会 担当委員	樋口大介	上原忠大
健康管理医(産業医)	大湾勤子	
緩和委員会	大湾勤子	上原忠大
	久志一郎	

病棟外来責任者

外来	川畑勉	中材手術室	國吉真行	中3病棟	仲本敦
中4病棟	河崎英範	北2病棟	末原雅人	北3病棟	樋口大介
北6病棟	仲本敦	西1病棟	諏訪園秀吾	西2病棟	諏訪園秀吾
緩和ケア病棟	大湾勤子				

医局委員

医局長	河崎英範	会計	大湾勤子	庶務	豊原一作
図書	饒平名知史	薬剤	諏訪園秀吾	会計監査員	久志一郎
副医局長	仲本敦				

売店・食堂のご案内

◆売店

- ◆営業時間～
- ・月曜日から金曜日まで
午前8時30分開店、午後6時閉店
- ・土日、祝祭日
午前11時30分開店、午後4時30分閉店

※北6病棟に入院されていて動けない患者様に限り、毎週水曜日の午前10時から午後2時の間に配達を行っています。ご希望の患者様は北6病棟看護師を通じて売店へご連絡下さい。



売店では、入院生活に必要な日用品、文具、雑誌、お菓子、飲物、マスク、テレホンカード、お弁当等取り扱っています。

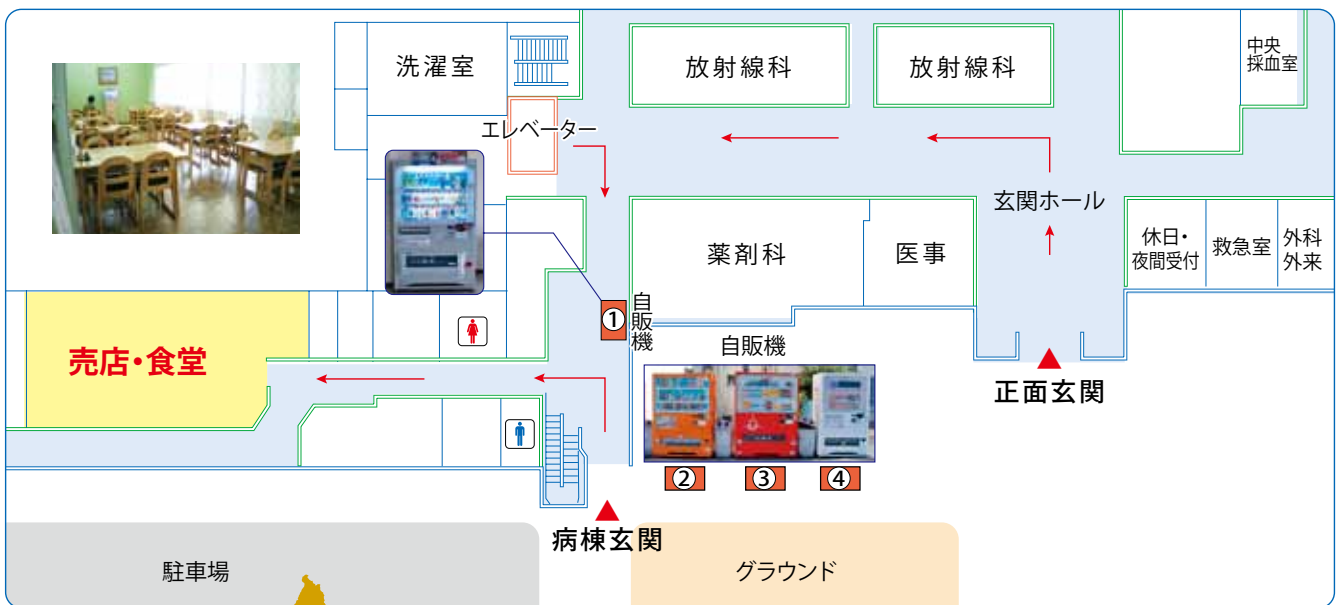
また、切手の販売、ゆうパック、クロネコヤマトの受付しています。

店長 當山 美和

◆食堂

平日(月～金)のみ営業、
午前8時30分開店、
午後2時30分まで

※尚、食堂は午後2時30分以降喫茶室としてご利用頂けます。御家族との面会、お友達がお見舞いにいらした時などにもご利用下さい。



アクセスマップ



NHO 沖縄病院

〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3丁目20-14
TEL 098-898-2121 FAX 098-897-9838
URL <http://www.okinawa-hosp.jp/>

バス系統番号

琉球バス 27 88 90 227 288 290

沖縄バス 27 52 61 80

那覇バス 25

携帯サイト

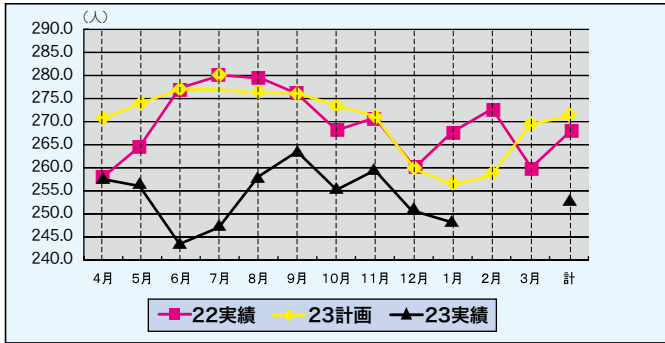


(↓ハサミで切り取ってご使用下さい。)



医事統計

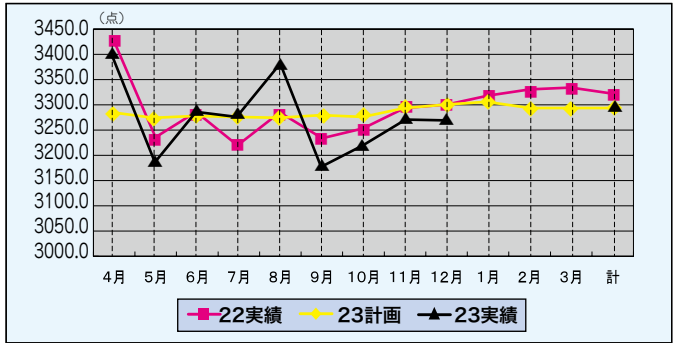
一日平均患者数(入院)



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22実績	259.0	266.6	277.3	280.1	279.2	276.7
23計画	271.0	274.3	277.0	276.3	276.5	276.3
23実績	258.2	255.2	244.3	245.4	257.9	263.8

年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22実績	267.4	271.4	259.9	266.6	272.5	259.1	268.1
23計画	274.0	272.0	259.5	257.3	267.9	270.1	271.0
23実績	255.2	258.1	251.4	246.9			254.2

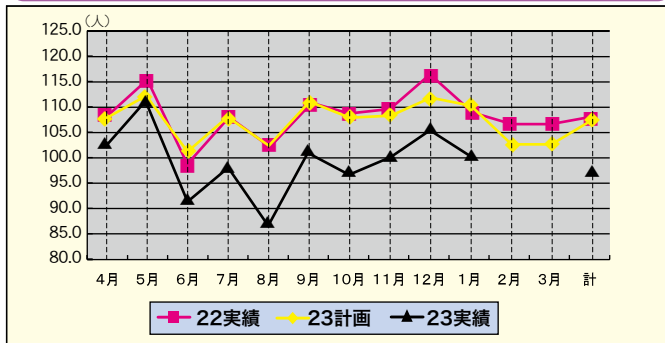
一人一日あたり診療点数(入院)



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22実績	3,436.5	3,246.3	3,286.7	3,239.9	3,284.1	3,238.1
23計画	3,290.7	3,286.2	3,289.6	3,286.1	3,284.2	3,287.7
23実績	3,402.8	3,195.9	3,292.2	3,279.4	3,386.7	3,187.6

年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22実績	3,254.5	3,293.0	3,299.9	3,328.6	3,307.7	3,346.3	3,285.2
23計画	3,286.4	3,290.8	3,301.7	3,302.1	3,291.1	3,291.9	3,290.6
23実績	3,217.4	3,284.0	3,275.8				3,290.6

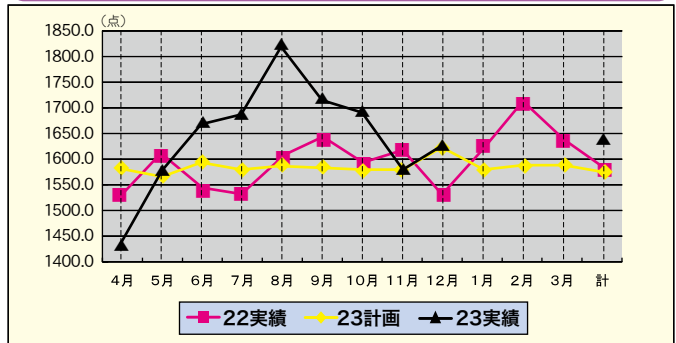
一日平均患者数(外来)



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22実績	108.3	115.2	98.8	108.3	101.7	111.2
23計画	108.1	113.2	101.3	107.9	101.4	111.5
23実績	103.5	112.3	90.9	96.6	85.9	101.1

年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22実績	107.5	109.1	115.9	108.8	106.2	106.2	107.9
23計画	106.2	107.9	111.9	109.7	103.7	103.8	107.0
23実績	97.2	100.7	105.6	100.5			97.8

一人一日あたり診療点数(外来)



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22実績	1,539.2	1,605.7	1,542.4	1,536.6	1,616.2	1,647.2
23計画	1,573.6	1,561.9	1,589.3	1,573.0	1,582.1	1,574.2
23実績	1,443.0	1,570.8	1,656.1	1,660.0	1,820.3	1,720.1

年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22実績	1,595.1	1,607.1	1,522.1	1,618.4	1,700.9	1,642.5	1,578.7
23計画	1,575.0	1,572.6	1,565.7	1,570.5	1,581.5	1,582.5	1,575.3
23実績	1,629.5	1,582.2	1,618.2				1,642.8

編集後記

沖縄は亜熱帯の気候であり一年中温暖な気候が続き、冬でも10℃を下回ることは殆どなく、暖房器具を使うことは希である。しかし、衣料品店へ行くとダウンウェア等本土と同じような冬物衣料が売ってある。本土から沖縄へ移り住むと初めのうちは夏がとても暑く冬は暖かく感じられるが、数年が過ぎると体が夏の暑さへ徐々に適応し、冬の寒さが応える様になり、本土と同様の冬物衣料が欠かせなく

なる。人類が地球上の熱帯地方から寒帯地方に至るまで幅広く住むことができるのは、この様にあらゆる気候へ適応出来る能力を持っているからだと思う。

それにしても、今年の冬は一段と寒さが応える日々が続いている。暑い夏が待ち遠しい。

編集委員会では職員の皆様から記事を募集しています。院内行事、研究発表、旅行記、表彰、挿絵、写真等、何か記事がありましたら、お気軽に近くの編集委員へご連絡下さい。

庶務班長 岩辻

編集委員

久場睦夫、江口珠美、浦本邦弘、八木茉莉、岩村正史、安里栄子、島田明子、吉丸健一、新里 満、田中祐治、岩辻好夫、金城富樹

独立行政法人国立病院機構 沖縄病院

〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3丁目20-14

TEL 098-898-2121 FAX 098-897-9838

ホームページ <http://www.okinawa-hosp.jp/>

宜野湾市 一般診療

ISO9001取得 独立行政法人 国立病院機構

沖縄病院

【内科外来】(総合・消化器・呼吸器・神経・ピロリ菌・禁煙)
 【外科外来】(消化器・呼吸器・乳腺・肺ドック)【整形外科】(一般・リウマチ)
 【セカンド・オピニオン外来】・【緩和ケア外来】・【癌・神経難病相談支援室】

TEL.898-2121

場 所: 宜野湾市我如古交差点西原向け 宜野湾市民図書館 南側

きりとり

きりとり